

# 老人保健医療費 30億7,425万円

～老人保健1人当たり医療費834,533円～

## ◆医療費について考えてみましょう

本町の老人保健医療費は、30億円を上回りました。

右のグラフは、制度別にみた宮之城町の1人当たりの医療費です。

老人保健制度で医療を受けている方の医療費は、退職者医療制度の約2倍、一般（若年）の約3倍もかかっています。

なぜ、老人保健制度での医療費が多いのでしょうか？

その理由は、加齢による病気やけがの増加などですが、一人ひとりの医療のかかりかたにも一因があります。

そこで、みなさんと一緒に考えてみましょう。

宮之城町

制度別1人当たりの医療費（平成15年度）

|         |          |
|---------|----------|
| 一般（若年）  | 282,913円 |
| 退職者医療制度 | 434,022円 |
| 老人保健制度  | 834,533円 |

## 第1 お医者さんへのかかりかたを考えてみましょう

医療費は、上手な受診を心がけることで有効に使うことができます。そのためにはお医者さんを信頼し、本人とお医者さんが協力し合って病気の治療に取り組まなければなりません。



### 【上手なお医者さんのかかりかた】

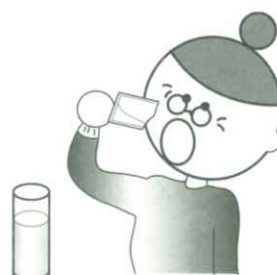
- 重複受診はやめましょう
- 時間外や休日の受診はやめましょう
- 必要以上に薬を欲しがるのはやめましょう
- かかりつけ医を持ちましょう
- 医師を信頼し、指示を守りましょう
- 定期的に健康診断を受けて、早期発見・早期治療を心がけましょう

## 第2 薬の飲みかたを考えてみましょう

高齢になると、慢性的な病気や複数の病気にかかることも多くなります。それを治療するための薬も、長期にわたって服用したり種類も増えるなど、薬とのつきあいも増えてきます。薬は正しく飲んでこそ効きます。薬の飲みかたが自己流になっていないか確認してみましょう。

### 【上手な薬とのつきあいかた】

- 新しいお医者さんにかかるとき、すでに他のお医者さんでもらっている薬があれば、それを見せましょう
- 飲み忘れたときなどはどうすればいいのか、聞いておきましょう
- まとめて2回分飲んだりしてはいけません
- あまった薬は、他人にあげたりせずに捨てましょう
- 副作用の経験がある方は、お医者さんにはっきり告げましょう



## ☆インフルエンザにご注意ください☆

### ◆症状はかぜと似ている… でも甘く見ていると死に至ることもある怖い病気です

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスの感染によりおこる病気です。主な症状としては、高熱（38～40度）や頭痛、筋肉痛、全身倦怠感などの全身症状とどの痛み、咳や痰などの呼吸器の急性炎症症状などがみられます。

インフルエンザは通常のかぜと比べ、症状が重く、全身症状も顕著に現れます。そのため、高齢者がかかると肺炎を併発したり、持病を悪化させたりして重篤になり、最悪の場合は死に至ることもあります。また、潜伏期間が短く感染力が強いことも特徴で、毎年、流行期の12月下旬から3月上旬にかけては多くの方がインフルエンザにかかっています。

### 【日常生活でできる予防方法】

日常生活ではまず、体調を整えて抵抗力をつけ、ウイルスに接触しないことが大切です。また、インフルエンザウイルスは湿度に非常に弱いので、加湿器などを使って室内を適度な湿度に保つことは有効な予防方法です。